



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 日本システム技術株式会社

コード番号 4323 URL <http://www.jast.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 平林 武昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長

(氏名) 大門 紀章

TEL 06-4560-1000

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,522	13.8	25	—	42	—	△5	—
23年3月期第2四半期	3,975	△21.1	△113	—	△70	—	△72	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △7百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.09	—
23年3月期第2四半期	△15.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	7,238	4,238	58.1	887.70
23年3月期	7,846	4,362	55.2	913.78

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 4,207百万円 23年3月期 4,330百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	11.2	400	89.4	420	58.8	220	1.4	46.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無  
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
  - ② ①以外の会計方針の変更： 無
  - ③ 会計上の見積りの変更： 無
  - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	5,104,230 株	23年3月期	5,103,230 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	364,140 株	23年3月期	364,077 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	4,739,441 株	23年3月期2Q	4,739,153 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の数値はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関連する事項につきましてはP. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9
5. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高45億22百万円（前年同期比13.8%増）、営業利益25百万円（前年同期は営業損失1億13百万円）、経常利益42百万円（前年同期は経常損失70百万円）、四半期純損失5百万円（前年同期は四半期純損失72百万円）となりました。この値は、前年第2四半期業績との比較では、売上高及び利益指標の全てで改善が見られます。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、サービス・流通業、通信業及び金融・保険・証券業向け案件が好調であったことにより、売上高27億51百万円（前年同期比21.4%増）、営業損失29百万円（前年同期は営業損失1億29百万円）の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、売上高8億14百万円（前年同期比15.5%減）、営業利益1億31百万円（同28.8%減）と、保守及び仕入販売は堅調であった一方で、大学向けP P（プログラム・プロダクト）販売、E U C（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）及び導入支援が減少したことにより、減収減益となりました。

最後に、システム販売事業（I T機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、公共系案件の顕著な回復により、売上高9億55百万円（前年同期比28.1%増）、営業利益40百万円（前年同期は営業損失73百万円）の増収増益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び資本の状況

まず、流動資産の残高は58億95百万円（前連結会計年度末比5億56百万円の減）となりました。これは主として、売掛金の減少並びに期中の仕掛品の増加等の増減の結果であります。また、固定資産の残高は13億43百万円（同51百万円の減）となりました。これは主として、のれんの償却による減少であります。

次に、流動負債の残高は17億68百万円（同4億97百万円の減）となりました。これは主として、短期借入金の返済並びに前受金増加等の増減の結果であります。また、固定負債の残高は12億30百万円（同13百万円の増）となりました。

最後に、純資産の合計残高は42億38百万円（同1億24百万円の減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高24億20百万円より4億73百万円減少し、19億46百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、3億73百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は1億21百万円の支出）となりました。この差額は主として、法人税等の支払額の増加、仕入債務及び前受金の増加の差引きによる結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、1億96百万円の支出（同14百万円の支出）となりました。この差額は主として、定期預金への預入れによるものであります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、6億50百万円の支出（同2億7百万円の支出）となりました。この差額は主として、短期借入金の返済によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による消費意欲低迷やサプライチェーン分断の解消が進み、企業の生産活動は回復しつつありますが、継続的な円高・株安、欧州の財政問題による世界的な景気後退懸念等、経済の先行きは依然として予断を許さない状況にあります。

情報サービス業につきましては、最新の統計（経済産業省の特定サービス産業動態統計、平成23年8月分確報）において、平成21年6月以降24ヵ月連続でマイナスとなっておりました売上高の前年同月比が平成23年6月で下げ止まった後、再びマイナスに転じており、平成23年10月3日発表の日銀短観で、平成23年度のソフトウェア投資計画額が全産業で前年同期比9.6%増となる等、企業の情報化投資への意欲は回復傾向を示しているものの、受注環境の実態は依然不安定な状況にあると考えております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、主力のソフトウェア事業においては、金融、通信、サービス・流通、製造業等、主力産業別の収益基盤を再建し、業績の再拡大を確実なものにするべく再編した組織の下で、さらなる受注の取り込み並びに最大収益を追求するための施策を遂行中であります。また、現在取り組んでおります新ビジネスの研究開発投資をより強力に推進し、新たな収益の柱を築くことに引き続き注力してまいります。

次に、パッケージ事業においては、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るため、大規模市場である関東圏及び関西圏にそれぞれ事業部を設置し、バージョンアップによる製品機能の充実、サポート組織の強化による顧客サービスの向上、有力企業とのアライアンスによる販売力強化等の施策を引き続き実行するとともに、次世代ビジネス構想の具体化にも着手し、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう取り組んでまいります。

最後に、システム販売事業につきましては、市場別に組織再編を実施し、回復の兆しのある文教系及び公共系市場向けS Iビジネス案件を確実に受注に結び付けてまいります。また、公共系案件について新規市場への取り組みを進め、新たな収益基盤を確立し、中長期的に安定した業績向上に繋げる所存です。

これらを踏まえ、平成24年3月期の連結業績予想は、平成23年5月11日付の当初発表どおり、売上高100億円（前連結会計年度比11.2%増）、営業利益4億円（同89.4%増）、経常利益4億20百万円（同58.8%増）、当期純利益2億20百万円（同1.4%増）を見込んでおります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,750,721	3,470,536
受取手形及び売掛金	2,096,402	1,765,301
商品及び製品	118,169	48,881
仕掛品	184,039	307,636
原材料及び貯蔵品	2,747	2,335
繰延税金資産	210,598	201,471
その他	92,878	103,196
貸倒引当金	△4,242	△4,342
流動資産合計	6,451,315	5,895,017
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	378,168	378,651
減価償却累計額	△259,221	△261,216
建物及び構築物（純額）	118,947	117,435
土地	142,361	142,361
その他	169,747	164,232
減価償却累計額	△138,390	△137,118
その他（純額）	31,356	27,113
有形固定資産合計	292,665	286,909
無形固定資産		
のれん	32,866	—
ソフトウェア	28,568	25,449
その他	6,818	6,818
無形固定資産合計	68,253	32,267
投資その他の資産		
投資有価証券	197,202	198,780
長期貸付金	2,694	2,694
繰延税金資産	261,015	267,442
差入保証金	240,290	248,168
前払年金費用	143,183	134,173
その他	240,631	223,917
貸倒引当金	△51,202	△51,202
投資その他の資産合計	1,033,815	1,023,973
固定資産合計	1,394,734	1,343,151
資産合計	7,846,050	7,238,168

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,342	619,604
短期借入金	598,406	160,521
1年内返済予定の長期借入金	90,000	—
未払法人税等	189,006	54,240
賞与引当金	403,476	357,580
役員賞与引当金	13,548	10,254
その他	391,298	566,329
流動負債合計	2,266,079	1,768,529
固定負債		
退職給付引当金	815,771	819,554
役員退職慰労引当金	348,692	359,122
繰延税金負債	578	—
その他	52,071	52,236
固定負債合計	1,217,113	1,230,913
負債合計	3,483,192	2,999,443
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	917,687	917,935
資本剰余金	879,325	879,573
利益剰余金	2,798,435	2,674,784
自己株式	△266,460	△266,494
株主資本合計	4,328,988	4,205,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,621	13,231
為替換算調整勘定	△10,055	△11,257
その他の包括利益累計額合計	1,566	1,974
新株予約権	—	1,008
少数株主持分	32,303	29,943
純資産合計	4,362,858	4,238,725
負債純資産合計	7,846,050	7,238,168

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	3,975,435	4,522,357
売上原価	3,192,026	3,601,471
売上総利益	783,408	920,885
販売費及び一般管理費	897,049	895,716
営業利益又は営業損失(△)	△113,641	25,169
営業外収益		
受取利息	5,073	4,335
受取配当金	2,284	2,341
受取賃貸料	8,360	8,563
助成金収入	2,430	—
保険解約返戻金	20,055	12,048
その他	12,019	5,913
営業外収益合計	50,224	33,202
営業外費用		
支払利息	2,053	2,523
賃貸費用	4,690	4,149
新株予約権発行費	—	5,170
固定資産除却損	3	3,585
その他	654	419
営業外費用合計	7,402	15,847
経常利益又は経常損失(△)	△70,819	42,524
特別利益		
賞与引当金戻入額	40,101	—
貸倒引当金戻入額	2,147	—
特別利益合計	42,248	—
特別損失		
投資有価証券評価損	140	2,225
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,155	—
特別損失合計	20,295	2,225
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△48,865	40,298
法人税等	26,058	46,879
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△74,924	△6,580
少数株主損失(△)	△1,980	△1,407
四半期純損失(△)	△72,944	△5,172



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△74,924	△6,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,540	1,610
為替換算調整勘定	△960	△2,154
その他の包括利益合計	△2,500	△544
四半期包括利益	△77,424	△7,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△74,922	△4,763
少数株主に係る四半期包括利益	△2,502	△2,360

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△48,865	40,298
減価償却費	16,104	17,025
ソフトウェア償却費	4,867	4,756
のれん償却額	32,866	32,866
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△46,102	△45,895
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	18,998	3,783
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	9,010
受取利息及び受取配当金	△7,358	△6,677
支払利息	2,053	2,523
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	20,155	—
新株予約権発行費	—	5,170
売上債権の増減額 (△は増加)	248,350	331,266
前受金の増減額 (△は減少)	109,309	214,482
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△66,956	△53,794
仕入債務の増減額 (△は減少)	△283,272	39,211
その他	△43,577	△45,022
小計	△43,427	549,003
利息及び配当金の受取額	7,433	4,766
利息の支払額	△2,397	△2,364
法人税等の支払額	△83,598	△178,189
営業活動によるキャッシュ・フロー	△121,990	373,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△20,992	△195,147
有形固定資産の取得による支出	△11,036	△10,135
ソフトウェアの取得による支出	△11,086	△1,637
保険積立金の取崩による収入	29,782	29,441
差入保証金の差入による支出	△606	△17,221
その他	△1,000	△1,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,939	△196,296
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	975	△438,546
長期借入金の返済による支出	△90,000	△90,000
新株予約権の発行による支出	—	△4,160
株式の発行による収入	—	494
自己株式の取得による支出	—	△33
配当金の支払額	△118,478	△118,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207,503	△650,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	△470	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△344,904	△473,851
現金及び現金同等物の期首残高	2,042,064	2,420,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,697,159	1,946,455

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	2,265,991	963,422	746,021	3,975,435	—	3,975,435
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	5,061	5,061	△5,061	—
計	2,265,991	963,422	751,082	3,980,496	△5,061	3,975,435
セグメント利益又は損失 (△)	△129,320	184,255	△73,122	△18,188	△95,452	△113,641

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△95,452千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム販売 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
1. 外部顧客への売上高	2,751,957	814,373	955,580	4,521,911	446	4,522,357
2. セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	91,752	91,752	△91,752	—
計	2,751,957	814,373	1,047,333	4,613,664	△91,306	4,522,357
セグメント利益又は損失 (△)	△29,616	131,226	40,307	141,916	△116,747	25,169

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△116,747千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

[生産、受注及び販売の状況]

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	2,343,570	120.3
パッケージ事業 (千円)	504,814	82.4
システム販売事業 (千円)	724,003	114.8
その他 (千円)	29,083	—
合計 (千円)	3,601,471	112.8

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	2,164,706	74.6	1,048,977	63.6
パッケージ事業 (千円)	828,735	83.3	703,252	101.7
システム販売事業 (千円)	1,106,843	186.1	260,139	78.3
その他 (千円)	1,236	—	861	—
合計 (千円)	4,101,522	91.3	2,013,231	75.3

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業 (千円)	2,751,957	121.4
パッケージ事業 (千円)	814,373	84.5
システム販売事業 (千円)	955,580	128.1
その他 (千円)	446	—
合計 (千円)	4,522,357	113.8

- (注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。  
2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
(株)ダスキン	374,566	9.4	487,563	10.8
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本(株)	334,037	8.4	466,764	10.3
(株)エヌ・ティ・ティ・データ関西	126,032	3.2	262,835	5.8

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。